

不動産事業者のイメージ 2年連続「口が達者」1位

リビン・テクノロジーズ調査

不動産関連の比較査定サイトを運営するリビン・テクノロジーズは8月27日、同サイトを利用した30歳以上の男女126人に「不動産事業者のイメージ」について調査した結果をまとめた。

それによると、不動産事業者のイメージトップ3は前年同様「口が達者」

(50・0%)、「しっかりい」(34・1%)、「強引」(29・4%)だった。過去2年間の同調査と比較すると、2年連続1位の口が達者は17年の28・1%から50・0%と大幅に増加している。

4位以下は「地域に詳しい」(26・2%)、「コミュニケーション能力が高い」(24・6%)、「知識が豊富」(共

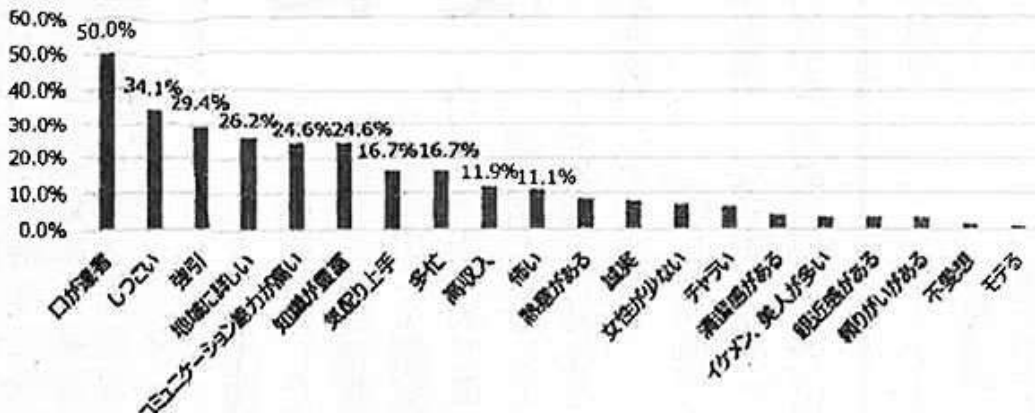
4%)が上回った。「ある」と回答した中で最も多かったのが「対応が良かった」(80・0%)となり、「優良物件を紹介してくれた」(23・3%)、「お金のことなど色々アドバイスしてくれた」(18・3%)などと続いた。

よいことがない理由で最多は、「悪いことを事前に教えてくれなかった」(34・8%)だった。

「対応が悪かった」(33・3%)と「所有不動産の売却価格が予想以上に低かった」(21・2%)を合わせて半数を超えた。

イメージは前年とほぼ変わらないものの、同社では、アパート建設会社の施工不良や不動産投資会社のデータ改ざんなどの問題が信頼を失わせる可能性を指摘している。

不動産事業者のイメージ (複数回答可、N=126)



「コミュニケーション能力が高い」(24・6%)、「知識が豊富」(共24・6%)、「気配り上手」(16・7%)、「多忙」(共に16・7%)、「高収入」(11・9%)、「怖い」(11・1%)が続いた。気配り上手も17年(3・8%)から大幅に増えた。「不動産事業者とのやり取りで良かったことはあるか?」も聞いたところ、「ある」(47・6%)よりも「ない」(52・